



大空出版  
新書判  
本体 800 円

## スマホ時代の親たちへ

——「わからない」では守れない！

藤川大祐 [著]

急速に情報が進む今日の社会において「ネットいじめ」「リベンジポルノ」「ネット依存」等心配なニュースが多く報道されている。そんな中、多くの大人たちがどのように子どもを守るべきか悩んでいるだろう。実際デジタルアーツ社の行った調査では、スマートフォン・タブレットなど、インターネットに接続された端末を子どもが利用することについて、七割以上の親が不安と回答した。特に、小学校低学年の母親は、八割以上が不安に感じると答えているが、本書はそんな保護者向けに書かれた一冊である。

本書の狙いは、今の子どもたちを取り巻くテクノロジーの現状と様々な問題を一つ一つ丁寧に解説し、保護者や教員向けに具体的な対策案を提案するものである。

小学生のうちにはスマートフォンや携帯

電話を子どもに持たせる予定はないので、うちは大丈夫というご家庭もあるかもしれないが、実はポータブルゲーム機や音楽プレイヤー等からもインターネットに接続でき、スマートフォンがなくても通話以外のほとんどの機能が同じであることは見逃されがちである。また今はインターネットに接続できるいかなる機器を子どもが利用していても、今後それらに触れないで成長する可能性は極めて低い。したがって、本書は、小学生の子どもを持つ全ての保護者にとって必読であるのみならず、お孫さんにスマートフォンやポータブルゲーム機などをねだられた祖父母の方、ネット問題の指導に苦心されている教育関係者にとっても現場で役立つ良書である。

自転車の乗り方や逆上がりの練習など自らが試行錯誤しながら体験してきた経

験とは異なり、スマホや携帯電話を大人になってから持ち始めた世代の人間にとっては、子どもたちがどのような時につまずいてしまうのか、どのような間違いを犯してしまいがちなのかといったことは想像がつきにくい。そのためネットの諸問題の背景を理解し、適切に指導するのは容易ではないが、まさに副題にもあるように「わからないでは守れない」のである。なぜなら、我々大人たちが問題を理解しないことは、「子どもにもスマホを持たせるのは、繁華街の入口、東京で言えば新宿・歌舞伎町の入口に一人で子どもを立たせるようなもの」(一〇八頁)だからである。本書が、子どもとインターネットの付き合い方や使用のルールについて家庭や学級で話し合うきっかけとなるであろう。